

それってボランティア!?

みなさん、ボランティアをしたことがありますか？

地元の自治会活動や、幼稚園や学校のお手伝いなどの身近な活動から、災害等の非常時の支援活動など様々な「ボランティア」といわれている活動があります。

最近自治体では「市民協働」とか「NPO」とか「ボランティア」という言葉がよくでてきます。また、「ボランティア休暇」という制度を取り入れる企業も出てきました。教育課程においても、ボランティア活動が進路や就職に影響を与えるとも言われています。

ところで、ひとくりに「ボランティア」といいますが、どのような活動がボランティアなのでしょう。

無報酬じゃなきゃいけないの!? 自発的じゃなきゃいけないの!? 友達のお手伝いは違うの!?

「ボランティア」という言葉から連想するモノは、経験や立場によってはまったく違うかもしれません。

今回のOff Cafeでは、知っているようで意外と知らない「ボランティア」について、参加者の皆さんで話したいこと、聞いてみたいことを見つけて、その話題を自由に話し合えるオープンなスペースをつくります。話題はいくつでも構いません。自分の考えを語るもよし、他人の話聞くもよし、横から眺めるもよし。

さて、オープンなスペースで繰り広げられる正解のない話し合いは、どのような展開になるのでしょうか。

- **日時:** 2009年8月26日(水) 18:30~20:30 終了後に懇親会を行います。
- **場所:** わびすけ本店(直方市殿町2-19) TEL 0949-22-0261
- **参加費:** 500円(ワンドリンク付き) なお、懇親会参加の方は別途4,000円のご負担をお願いします。
- **参加表明:**
参加される方は8月21日(金)までにご連絡をお願いします。途中の入退場は自由ですが、会場と進行の都合上、なるべく間に合うようにお越しください。メールは梅原まで(tatsumi.umehara@gmail.com)

【ボランティアとは】(出典:フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』)

ボランティア(英:volunteer)とは、古典的な定義に基づくならば自発性、無償性、利他性に基づく活動、またはそれに携わる人のことである。

語源

volunteerの語の原義は志願兵であり(反語がdraft—徴集兵)、歴史的には騎士団や十字軍などの宗教的意味を持つ団体にまで遡ることができる。語源はラテン語のVolo 志願者である。英語圏では現在でも本来の語義通り志願兵あるいは義勇兵の意味でも「ボランティア」は使われている。一部では傭兵(mercenary)の中で対価が極端に低い、いわゆる cheap mercenary を volunteer に含めてしまう場合もあるが、この用例はジャーゴンに近く一般的ではない。

特徴

先に述べたようにボランティアは、古典的な定義においては自発性、無償性、利他性に基づく活動とされてきた。しかし近年ではこうした定義への再検討が加えられている。まず無償性に関しては、有償ボランティアという存在が出現し受け入れられていることで、ボランティアの定義から外れつつある。

一方、先駆性、補完性、自己実現性といった新たな概念がボランティア活動の特徴として指摘されるようになってきている。先駆性とは、ボランティア活動が既存の社会システム中に存在しない役割を担うことから指摘されるもので、こうした先駆性を持つ存在をチェンジエージェントと呼ぶ。ボランティア分野のチェンジエージェントとしてティーチ・フォー・アメリカなどが挙げられる。補完性とは、既存の行政システムでは対応しきれないニーズを満たす性質のことである。自己実現性とは、ボランティア活動がそれに参加する個人の自己実現の場の役割を果たす性質に注目した概念である。

